

別紙（イベント詳細）

ポイント1 西本願寺書院「虎の間」の障壁画は、どのように蘇ったのか

西本願寺書院の虎の間にある杉戸絵は、今から約400年前に描かれました。その杉戸絵も時がたつと絵具が剥がれ色に変色しています。

そのため、戦後この変化を防止するためポリビニールアルコール（PVA）という液体が塗られました。しかし、その後杉戸絵は黒く変色し、見えなくなりましたが、2011年に文化財修復の専門家と大学の教員が協力し、蘇りました。実際にどのように蘇ったのか、またどのように木の板に虎の絵が描かれたかわかる展示物もあります。

◇文化財修復について知ろう！

西本願寺書院（国宝）「虎の間」にある「杉戸絵」の復元展示を通して、文化財修復についてわかりやすくご紹介します（パネル展示）。また、文化財を修復するにあたっては、様々な調査・研究が行われています。先端理工学部・藤原学教授、小川圭二教授による研究内容を、ポスターや展示物を使って紹介します。

日時：8月3日（火）～8月9日（月・祝） 10：00～17：00

※8/7～8/9は、「杉戸絵」の修復に関する解説あり。

会場：龍谷ミュージアム 101講義室

その他：参加無料、事前申込不要、入退場自由。

ポイント2 日本画の絵具を作ってみませんか

文化財の修復には、どのような絵の具が使われているか、ご存じでしょうか。

8/7-9は、鉱石から日本画の絵具を作るまでの過程を体験いただけるワークショップを企画しました。お子様だけでも、お子様と一緒に親御さんも体験して頂けます。 ※募集終了

◇ワークショップ「天然鉱石から岩絵の具を作ろう！」

絵画で使われる岩絵の具はどのようにして作られるのでしょうか。天然鉱石（ラピスラズリ）を使って、岩絵の具を作ってみよう！

日時：8月7日（土）、8日（日）、9日（月・祝） ※募集終了

①11：00～12：30、②15：00～16：30

会場：龍谷ミュージアム 101講義室

定員：各回先着10名 ※龍谷ミュージアムHPから事前申込が必要

その他：参加無料。小学校低学年の方の参加の場合は、保護者の方が付き添いご参加ください。

ポイント3 日本画の原料や作り方を知ろう

日本画の絵具の元となる鉱石を触ったり、持ち上げたり、ルーペで観察して頂けます。
また、同じ鉱石から作った絵具でも、鉱石の砕き方や処理の仕方で発色が違います。

◇ 日本画の原料や作り方を知ろう！

同じ鉱石から作った絵具でも、鉱石の砕き方（粒子の大きさ）で発色が違います。日本画の絵具の元となる鉱石を触ったり、ルーペで観察してみましょう。砕いた鉱石を顕微鏡で観察することもできます。

日 時：8月3日（火）～8月9日（月・祝） 10：00～17：00

※8/7～8/9 は解説あり。

会 場：龍谷ミュージアム 101 講義室

その他：参加無料、事前申込不要、入退場自由。

ポイント4 本物を感じてみよう

8/7-9 の期間中、西本願寺の虎の間の拝観ツアーを参加費無料で行っております（要事前申込）。

お子様連れ歓迎です、展示で知ったことが実際にどのように使われているのか、本物の文化財とはどんなものなのか、視覚や聴覚などの様々な感覚を使って感じて頂ければと思います。 ※募集終了

◇ 本願寺書院「虎の間」特別拝観ツアー

龍谷ミュージアムの学芸員が非公開の西本願寺の書院「虎の間」などを、解説を交えながらご案内します。

日 時：8月7日（土）、8日（日）、9日（月・祝） ※募集終了

①9：30～10：30、②13：30～14：30

集合場所：龍谷ミュージアム

定 員：各回先着 20 名（龍谷ミュージアム HP から事前申込が必要）

その他：参加無料